

2016年6月10～12日四日市東日本大震災支援の会 第33回派遣 宮城県東松島市・福島県葛尾村 支援活動の報告

2016年6月23日 四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文

震災から5年がたちました。宮城県東松島市では、集団移転が急速に進んでいます。また、原発事故で全村避難が続いている福島県葛尾村は、帰村に向けた準備が進められています。どちらも復興に向けた歩みではありますが、まだまだ先が見えない状況にあり、動き始めたために新たに発生する課題も多くあると聞きます。東北の仮設住宅では、高齢者比率が高くなり、孤立などの問題が深刻で、まだまだ交流促進など心の支援が必要とされています。支援の会では、第33回の活動として、東松島市と葛尾村の仮設住宅でのサロン活動を実施しました。

<活動場所>

- 矢本運動公園仮設住宅
- 葛尾村仮設住宅(三春町)

★参加費

生徒・学生 18,000円 (スタッフ(現地で5日以上活動を経験した支援の会会員)は9,000円)

★参加者 30名

四日市大学学生 16名、同大学教職員 2名、四日市看護医療大学学生 11名、同大学教員 1名

<スケジュール概要>

★6月10日(金)

20:00 四日市大学9号館ロビーに集合
21:00 四日市大学出発(四日市大学バス停裏の職員駐車場)

★6月11日(土)

7:00頃; 上品の郷サービスエリアで朝食(各自負担)と洗顔(30分程度の休憩)
8:00 大川小学校の視察(津波で84名の児童と先生が犠牲になった学校です)
10:00 矢本運動公園仮設住宅集会所に到着、降車・荷物搬入・ミーティング
10:30 から準備と戸別訪問
11:30 集会所で仮設住宅自治会の皆さんと昼食会
12:30 交流ボランティア
16:00 片付け終了後 ⇒ 「ゆふと」にて入浴
20:00 振り返りと翌日の活動のためのミーティング
21:00 仮設住宅集会所で宿泊・消灯

★6月12日(日)

4:00 先発隊出発
5:00 バス出発
8:30 三春町到着
9:00 葛尾村の3つの仮設住宅(三春町)での交流会
11:00 終了 ⇒ 帰路に
20:00頃 四日市大学帰着 ⇒ 片付け ⇒ 解散



矢本運動公園仮設住宅で自治会長さんと記念撮影



大川小学校



仮設住宅で足浴&お茶会



葛尾村仮設庁舎前での記念撮影